

中小企業 前へ

市場創造編 第2部

激震

受託キャンセル 債務超過に

トで日本一に輝いた。各地でのコンサートを通じて、谷村新司、きたやまおさむ、森山良子らの有力シンガーと切磋琢磨し、桂三枝（現文枝）とレコードを出したこともある。

華やかなバンド活動とは裏腹に、福井が経営者になるまでの道は険しかった。

音楽好きの団塊世代で、フォークバンド「ダボーズ」の名を記憶にとどめる人は多いかもしれない。

自動車・OA機器部品メーカー、三和テクノ（神戸市長田区）社長の福井和郎（71）はメンバーの一人だった。関西学院大学に在学中の約50年前に同級生4人と

結成し、ギターを担当した。当時はフォークソングブームの真っただ中。プロへの登竜門とされる「ヤマハライトミュージックコンテス

部品メーカー 三和テクノ ②

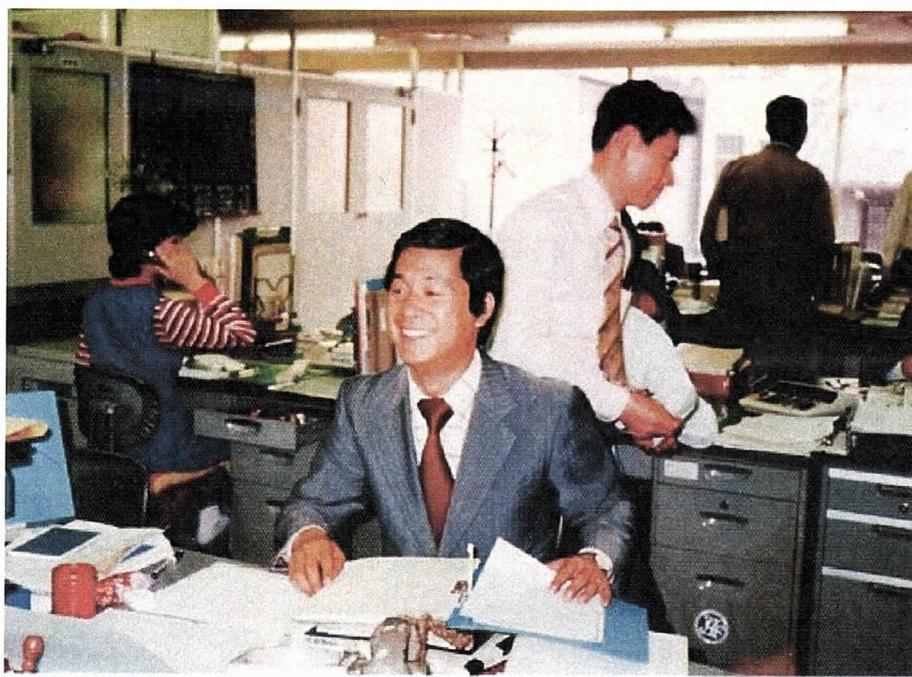
つて日本一に輝いた。各地でのコンサートを通じて、谷村新司、きたやまおさむ、森山良子らの有力シンガーと切磋琢磨し、桂三枝（現文枝）とレコードを出したこともある。

華やかなバンド活動とは裏腹に、福井が経営者になるまでの道は険しかった。

音楽好きの団塊世代で、フォークバンド「ダボーズ」の名を記憶にとどめる人は多いかもしれない。

自動車・OA機器部品メーカー、三和テクノ（神戸市長田区）社長の福井和郎（71）はメンバーの一人だった。関西学院大学に在学中の約50年前に同級生4人と

結成し、ギターを担当した。当時はフォークソングブームの真っただ中。プロへの登竜門とされる「ヤマハライトミュージックコンテス



ったこともある。

□ □

ある時、提案先の自動車メーカーに「商社でも製造部門を持たないと生き残れない」と忠告された。商品卸すだけでなく、メーカー機能を備えることで、品質、納期、価格面で顧客ニーズに柔軟に対応できるためだ。ちょうど、神戸市長田区でスポンジを打ち抜き加工する三和商工の協力会社で、社長の高齢を理由に廃業を考えていた。この会社を買収すべきという福井の進言が、上層部に受け入れられた。

84年に完全子会社化し、福井は専務に就任。86年に「三和テクノ」と改称した。滑り出しは順調で、自動車関連製品を中心に月商は900万円から1億円超に伸びた。当時、親会社は建材部門を強化しており、グループ内の相乗効果が見込まれないと判断。社長に「協力会社を探して独立していいか」と宣告された。

福井らは分離独立を余儀なくされた。阪神・淡路大震災後の95年10月。まさに激震だった。

ところが90年ごろ、会社に衝撃が走る。レーザープリンターに使われるトナーカートリッジの製造受託が急ぎよ、発注先のOA機器メーカーによってキャンセルされたのだ。すでに同市西区に工場を借りて設備を導入し、技術者も雇うなどの投資に踏み切っていた。

しかし、相手は自社プリンターの競争力低下を理由に事業撤退を決めたという。三和テクノは、全ての資産を売却しても負債を返済できない債務超過に陥った。当時、親会社は建材部門を強化しており、グループ内の相乗効果が見込まれないと判断。社長に「協力会社を探して独立していいか」と宣告された。

福井らは分離独立を余儀なくされた。阪神・淡路大震災後の95年10月。まさに激震だった。

三和商工の営業マンだった頃の福井和郎氏（1973年撮影（本人提供））

（大島光貴）